

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	・看取り介護を提示しているが、基準が曖昧である。 (グループホームとしてどこまで対応が可能であるか) ・看取り介護に対する体制が不十分である。 (職員の意識・医療との連携・設備面の整備)	利用者の重度化により看取り介護が本格化する状況である為、実際に看取り介護を行える体制を整え、家族への説明、理解を明確に行う。	・看取り介護指針の整備 ・職員研修の実施 ・家族への説明と理解	12ヶ月
2	36	・利用者の重度化が著明により、介護量が増えてきている。その為一人ひとりのペースに合わせて関わるのが困難になっている。 ・コロナ禍で第三者(家族)の目が入りにくいので、プライバシーの確保について見直す。	利用者の重度化、介護量の増加のなかでも個人を尊重したケアが出来るように職員が意識して行う。	・介護倫理の研修の充実(プライバシーについて・秘密保持についてなど) ・接遇に関しての研修の充実(挨拶・言葉遣い・介護方法など) ・日常のケアを振り返る。(事例を挙げて会議などで話し合う)	12ヶ月
3	49	・コロナ禍で外出行事ができない状態であり、外に出る機会が少なくなっている。	短時間でも気分転換ができるように外に出る機会を設ける。	・施設敷地内での畑作業や清掃などを手伝っていただく。 ・ドライブ外出を行う。 ・テラスにて日光浴を行う。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。